

歳入

【歳入予算額内訳】				(単位:万円)
項目		予算額	構成比	増減率
自主財源	市税	113億4,960	23.6%	1.4%
	繰入金	13億4,963	2.8%	△45.9%
	諸収入	8億8,453	1.8%	△13.6%
	使用料及び手数料	7億 503	1.5%	△1.2%
	分担金及び負担金	6億7,604	1.4%	75.7%
	寄附金	6億	1.2%	140.0%
その他	財産収入	4億4,548	0.9%	515.0%
	小 計	160億1,031	33.2%	△0.8%
依存財源	地方交付税	137億3,000	28.5%	△0.1%
	国庫支出金	58億7,789	12.2%	△1.0%
	県支出金	46億3,930	9.6%	4.6%
	市債	45億2,320	9.4%	△12.7%
	地方消費税交付金	22億6,070	4.7%	20.6%
	地方譲与税	9億1,768	1.9%	6.6%
	地方特例交付金	7,350	0.2%	△61.2%
	法人事業税交付金	4,702	0.1%	皆増
	環境性能割交付金	4,160	0.1%	△6.3%
	配当割交付金	2,200	0.1%	△0.5%
	株式等譲渡所得割交付金	1,440	0.0%	△24.2%
	交通安全対策特別交付金	1,300	0.0%	1.6%
	ゴルフ場利用税交付金	1,110	0.0%	△9.0%
	利子割交付金	630	0.0%	△55.3%
	自動車取得税交付金	0	0	皆減
	小 計	321億7,769	66.8%	△0.7%
	合 計	481億8,800	100.0%	△0.7%

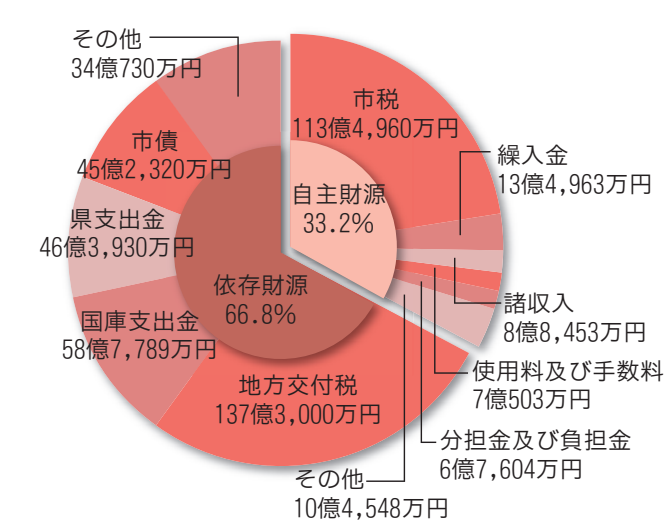
※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります

歳出

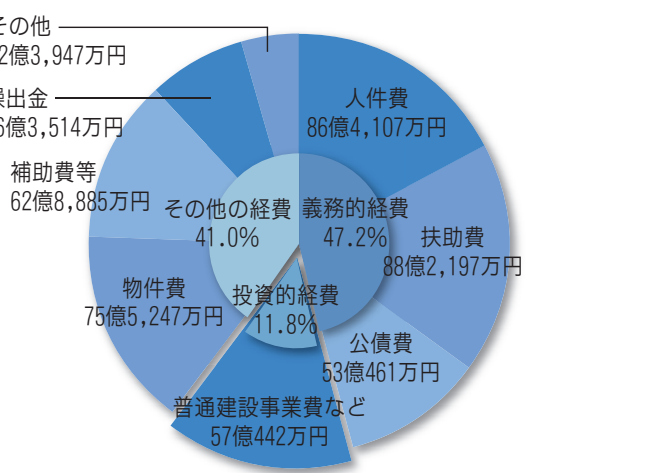
【歳出予算額内訳】				(単位:万円)
項目		予算額	構成比	増減率
義務的経費	人件費	86億4,107	17.9%	2.9%
	扶助費	88億2,197	18.3%	△0.7%
	公債費	53億 461	11.0%	△0.1%
	元金	50億4,877	10.5%	0.8%
	利子	2億5,584	0.5%	△14.9%
小 計		227億6,765	47.2%	0.8%
投資的経費	普通建設事業費	57億 242	11.8%	△11.8%
	災害復旧事業費	200	0.0%	0.0%
	小 計	57億 442	11.8%	△11.8%
その他の経費	物件費	75億5,247	15.7%	3.1%
	補助費等	62億8,885	13.1%	4.9%
	繰出金	36億3,514	7.5%	△4.1%
	投資及び出資貸付金	12億 321	2.5%	△11.3%
	維持補修費	9億7,051	2.0%	1.4%
	積立金	2,575	0.1%	93.8%
	予備費	4,000	0.1%	0.0%
	小 計	197億1,593	41.0%	1.2%
合 計		481億8,800	100.0%	△0.7%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります

*** 性質別歳出**
歳出の経費を人件費や普通建設事業費、物件費など経済的性質で分類したものが性質別歳出です。このほかに、農林水産業費や教育費など行政目的で分類した目的別歳出があります。



用語解説(歳入関係)
▶自主財源・依存財源／市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金が「依存財源」。▶地方交付税／市の行政需要と財政力に応じて、国から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金／事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶市債／事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金



用語解説(歳出関係)
▶義務的経費／人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶投資的経費／道路や学校など、将来的に残るものに対する経費▶扶助費／社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶公債費／過去に借りたお金を返すための経費▶物件費／施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶繰出金／一般会計から特別会計へ支出する経費▶補助費等／事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費

令和2年度当初予算のあらまし

令和2年第1回市議会定例会で、令和2年度当初予算が審議・可決されました。本年度の一般会計予算は、481億8,800万円。前年度当初予算比で0.7%の減となっています。「～住みたい、住み続けたい 魅力あるイーハトーブはなまきへ～」を掲げて編成した本年度予算についてお知らせします。

令和2年度予算の概要

◆ ◆ ◆ ◆ 歳入 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 歳出 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

自主財源の柱である市税は家屋の新築・増築による固定資産税の増加などにより、全体で1.4%の増加を見込んでいます。
依存財源の代表的なものである地方交付税は0.1%の減少を見込んでいる一方で、農業団体が実施する生産施設の整備費に対する支援などの増加により、県支出金で4.6%の増加を見込んでいます。市債については、東和コミュニティセンター整備が完了したことなどにより、12.7%の減少を見込んでいます。

義務的経費は、会計年度任用職員制度の施行などにより、人件費で2.9%の増加を見込んでいます。
また、投資的経費では、農業団体が実施する生産施設の整備費に対する支援や、(仮称)花巻P Aスマートインターチェンジ整備を見据えた山の神諏訪線の改良をはじめとする生活道路整備事業などを計上しているものの、総合花巻病院の移転整備支援や東和コミュニティセンター整備が令和元年度で完了したことなどにより、普通建設事業費で11.8%の減少を見込んでいます。

令和2年度予算の特徴(抜粋)

特徴1 将来世代を育む 子育て支援を強力に推進

■出産サポート
昨年9月から実施している助産師などの確保策を継続して実施します。また、産後ケア事業の利用回数を5回から7回に増やします。さらに、県が実施するハイリスク妊産婦への交通費支援に加え、市独自で全ての妊産婦を対象とした交通費の支援を実施します。

■保育環境の充実・保護者負担の軽減
国や県の補助対象とならない市内私立保育園や幼稚園などへのエアコン整備支援を市独自に実施します。また、宮野目学童クラブの増築や、花巻学童クラブ仮移転に伴う建物の借り上げを実施します。さらに、学童クラブごとに実施状況が異なっている、ひとり親またはきょうだい同時入所世帯を対象とした保育料の減額・免除の基準を統一します。

■医療費負担の軽減
中学生医療費助成の現物給付を県内自治体と同様本年8月から実施します。さらに、市内医療機関限定とはなりますが、高校生等医療費助成の現物給付の実現に向け関係機関と協議しています。

■家族で笑顔
親世帯との同居・近居、生活サービス拠点に住宅を取得した子育て世帯を対象に奨励金の交付を継続します。

特徴2 インフラなどの整備 継続した取り組みを着実に

■完成事業
道の駅「はなまき西南」の地域振興施設の工事完了を見込んでいます。また、大迫中学校のグラウンド整備を行い、平成28年度から実施している大迫中学校校舎改築事業の完了を見込んでいます。

■着実な継続事業の進捗
道の駅「石鳥谷」の施設再編に向け、南部杜氏伝承館(ひなや)を行うなど、本格的な整備を始めます。
なお、国の補正予算に対応し、当該事業費の一部を令和元年度予算に前倒しています。
また、国道4号花巻・北上間の拡幅の実現に向け、引き続き県や近隣市町と共に国へ要望していくほか、市として(仮称)花巻P Aスマートインターチェンジの事業進捗を図るための調査や測量、設計などの費用を予算計上します。
さらに、二枚橋地区における産業用地の整備を進めるほか、令和5年度の完成を見込んでいる(仮称)花巻P Aスマートインターチェンジを見据え、花南地区における産業団地整備に係る基本計画の策定および排水路系統調査などを実施します。

特徴3 安心できる暮らし環境の充実

■公共交通の充実 医療を受けやすく
高齢者や若年者などの市民の交通手段を確保するため、市街地循環バスや予約乗合バスの運行費支援を継続して実施します。
また、市内バス交通の結節点であるイトーヨーカドーバス停留所の待合室整備に係る設計を行うほか、市街地循環バス・星めぐり号の車両を更新します。
さらに、路線バス・大迫石鳥谷線を利用する高校生を対象とした通学定期券購入補助を実施。高校生の保護者の負担軽減と、利用が減少している同バス路線の利用者の増加を図ります。
岩手医科大学附属病院の矢巾移転に合わせて実施している花巻駅、石鳥谷駅と同附属病院の連絡バスを引き続き運行します。
公共交通が整備されていないなど、通院が困難な高齢者の通院交通費を助成するため、福祉タクシー制度の拡充を検討します。
■福祉の充実 地域での支え合い
障がい者が安心して暮らせるよう地域生活拠点などを整備。グループホームの体験機会の提供や、介護者の緊急時に対応できるショートステイによる受け入れ体制の実現に向けた検討をします。

暮らし 自然豊かな地域で共に支え、誰もが安心して、いきいきと快適に暮らすまち

政策	事業名	予算額	内容
生活基盤の充実	道の駅整備事業	2億3,254万円	道の駅を核とした地域の連携強化を図り、道路利用者に安全で快適な交通環境を提供するため、西南地域に道の駅を整備。地域振興施設工事と外構工事を完了させます。
	公共交通確保対策事業 《一部新規》	1億5,372万円	高齢者や若年者などの交通手段を確保するため、市街地循環バスや予約乗合バスの運行費支援を継続。新たに、路線バス・大迫石鳥谷線を利用する高校生を対象とした定期券購入補助を実施します。さらに、バス交通結節点のイトーヨーカドーバス停留所の待合室整備に係る設計を行うほか、市街地循環バス・星めぐり号の老朽化に伴う車両更新を行うなど、快適・便利で継続可能な公共交通サービスを提供します。
福祉の充実	障がい者地域生活支援拠点等整備事業 《拡充》	4,697万円	障がい者が安心して地域で暮らせるよう地域生活拠点などを整備。グループホームの体験機会の提供や、介護者の緊急時に対応できるショートステイによる受け入れ体制の実現に向けた検討をします。
健康づくりの推進	妊産婦交通費支援事業 《新規》	2,490万円	安心して出産できる環境を維持するため、新たに県が実施するハイリスク妊産婦への交通費などの支援に加え、市独自で全ての妊産婦を対象に交通費を支援します。
	母子保健事業 《拡充》	1億1,670万円	安心・安全な妊娠・出産と、子どもの健やかな成長・発達を支援するため、健康診査や育児相談などを実施。さらに、産後ケア事業の利用回数を5回から7回に拡充します。
	地域医療ビジョン推進事業	2,391万円	将来の医療供給体制を確保するため、岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会への支援や、岩手医科大学附属病院利用者連絡バス運行を継続します。
	助産師等確保対策事業	923万円	安心して出産できる環境を維持するため、市内産科医療機関に就職する助産師・看護師に対し支援します。

人づくり 郷土を愛し、丈夫な体と深い知性を持つ心豊かな市民が育つまち

政策	事業名	予算額	内容
子育て環境の充実	中学生医療費助成事業	1,100万円	安心して子育てができる環境づくりを推進するため、中学生の保護者の経済的負担を軽減。本年8月からは、医療費助成分を控除した費用のみを窓口で支払う「現物給付方式」を導入します。
	高校生等医療費助成事業	1,100万円	安心して子育てができる環境づくりを推進するため、高校生などの保護者の経済的負担を軽減。医療費助成分を控除した費用のみを窓口で支払う「現物給付方式」を本年8月から市内医療機関限定で導入するため、関係機関と協議中です。
	放課後児童支援事業 《拡充・一部新規》	3億 516万円	児童の健全育成を図るため、待機児童が発生している宮野目学童クラブを増築するとともに、花巻学童クラブ仮移転に伴う建物の借り上げを実施。さらに、ひとり親または、きょうだい同時入所世帯の保育料減額・免除基準を各学童クラブで統一します。
	保育施設環境整備支援事業 《新規》	311万円	国や県の補助対象とならない、私立保育所や幼稚園などのエアコン整備費に対し支援します。
	保育サービス向上支援事業 《一部新規》	1億9,327万円	私立保育園などでの多様な保育サービスを提供するため、地域での子育て活動などに対し支援。さらに、子育て環境を充実させるため、子育て支援センターのエアコン整備費に対し支援します。
	国際都市推進事業 《拡充》	2,471万円	国際交流活動を促進するため、国際交流センターを運営するほか、「復興『ありがとう』ホストタウン事業」として東京オリンピック出場選手との交流会などを実施します。
スポーツの振興	インターハイ開催事業	628万円	全国高等学校総合体育大会(インターハイ)ハンドボール競技を開催するため、実行委員会を設置。開催準備・インターハイ周知活動などを実施するとともに、円滑な大会運営を行います。

※令和2年度予算書、事業の概要をまとめた資料は、本館財政課、各振興センター、各市立図書館に備え付けているほか、市ホームページに掲載しています



令和2年度 主要事業を紹介します

令和2年度当初予算に示した主な事業を「しごと」「地域づくり」「暮らし」「人づくり」の四つの分野ごとに紹介します。



しごと 仕事いっぱい、雇用がいっぱい、活力に満ちたまち

政策	事業名	予算額	内容
農林業の振興	有害鳥獣被害対策事業 《一部新規》	1,230万円	農林産物や人身に被害を及ぼす鳥獣の対策のため、新たに専門職員を配置するほか、効果的な捕獲のための遠隔操作システムを導入。さらに、新規狩猟免許取得者に対し支援します。
	生産施設等整備事業	5億3,813万円	小麦種子や大豆の集出荷貯蔵施設などの整備費に対し支援します。
	森林経営支援事業 《拡充》	4,928万円	市内の森林を適切に管理するため、ICT機器導入費や、森林施業プランナーの育成、里山整備などに対し支援。さらに、山地災害の防災・応急対策を実施します。
観光の振興	道の駅「石鳥谷」施設再編事業	1億6,612万円	道の駅「石鳥谷」の魅力や利便性の向上を図るため、施設の再編を実施。南部杜氏伝承館の曳家を行うなど、本格的な工事を始めます。 ※地方創生拠点整備交付金が国の補正予算で認められたため、一部を令和元年度予算に前倒しました
農工商観連携の推進	産業団地整備事業	3億2,768万円	雇用創出につなげるため、産業の立地を誘導し、二枚橋地区内に産業用地の整備を進めるほか、花南地区への企業立地の可能性に係る調査・検討などを実施します。

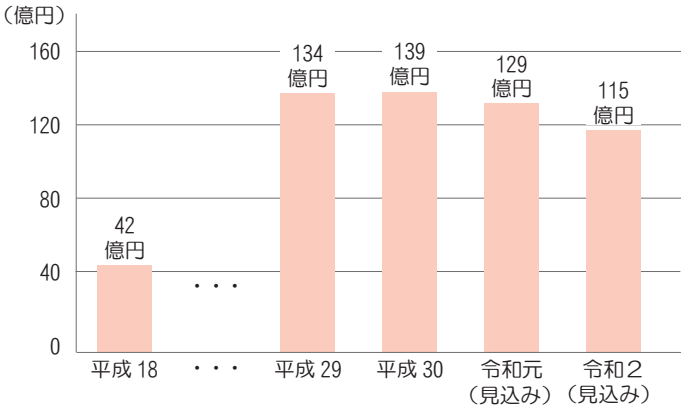
地域づくり すべての市民が手と心をつなぐ、個性あふれる自立したまち

政策	事業名	予算額	内容
地域主体のまちづくり	定住促進事業	5,105万円	市内への移住・定住を促進するため、親世帯との同居・近居、生活サービス拠点に住宅を取得した子育て世帯へ奨励金を交付。さらに、移住希望者に対し住宅取得費用などを支援します。

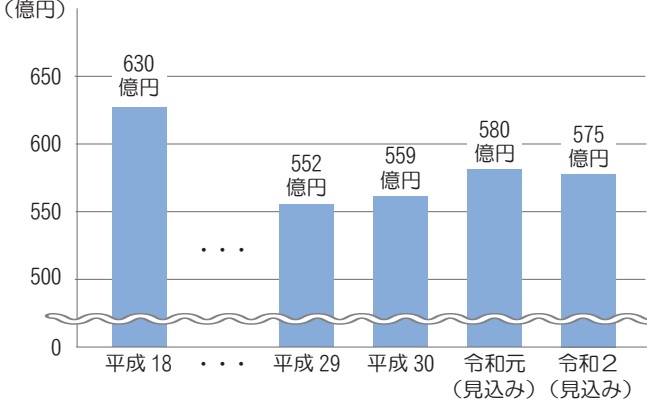
令和2年度当初予算のあらまし

■主な基金(貯金)年度末現在高の推移

※財政調整基金、減債基金、まちづくり基金の合計額



■一般会計における地方債(借金)年度末現在高の推移



■一般会計の市債残高と実質的将来負担額

(単位:万円)

区分	2年度	元年度	増減額
市債現在高(年度末見込み額)	574億5,658	579億8,216	△5億2,558
うち実質的将来負担額	154億 151	155億5,196	△1億5,045

※2年度の市債現在高見込み574億5,658万円のうち、後年度に国の地方交付税で措置される額407億9,342万円(見込み)と民間企業から市に返還される地域総合整備資金貸付事業債12億6,165万円を差し引いた、実質的な本市の将来負担額は、154億151万円(対前年度1億5,045万円)となります



■令和2年度各会計予算の総括表

(単位:万円、%)

区分		2年度 予算額	元年度 予算額	増減額	増減率	2年度末 市債残高 見込み	元年度末 市債残高 見込み	増減額
一般会計		481億8,800	485億3,929	△3億5,129	△0.7	574億5,658	579億8,216	△5億2,558
特別会計	国民健康保険	84億5,816	82億2,175	2億3,641	2.9	—	—	—
	後期高齢者医療	21億2,135	21億6,206	△4,071	△1.9	—	—	—
	介護保険	105億7,229	106億2,930	△5,701	△0.5	—	—	—
	公設地方卸売市場	6,735	1億3,240	△6,505	△49.1	1億6,025	1億3,660	2,365
	污水处理事業	0	1億3,302	△1億3,302	△100.0	—	7億8,690	△7億8,690
合計		694億 715	698億1,782	△4億1,067	△0.6	576億1,683	589億 566	△12億8,883

※污水处理事業特別会計は、本年度から公営企業会計に移管しています

■下水道事業会計(公営企業会計)

(単位:万円)

区分	収益的収支		資本的収支		2年度末 市債残高 見込み
	収入	支出	収入	支出	
公共下水道事業	25億5,074	24億8,504	19億9,256	30億6,879	390億8,030
農業集落排水事業	9億2,292	9億3,757	5億7,054	10億1,129	
戸別浄化槽事業	1億5,681	1億8,349	111	2,599	
合 計	36億3,047	36億 610	25億6,421	41億 607	

◆収益的収支とは…下水道料金を主な財源として、施設の維持管理や借入利息返済などを行います

◆資本的収支とは…企業債などを主な財源として、施設の建設や更新などを行います